

## 研究課題名：乳がん看護外来にて乳がん初期治療における意思決定支援の実際と考察

### 1. 研究の対象

2016年7月から2017年7月に乳がん看護外来を受診された方、28名

### 2. 研究目的・方法

目的：患者さんやその家族が、がんと診断されたときから身体・精神症状マネジメント、心理的サポートを含めたケアを受けることができ、医師や多職種との連携を図り、継続した質の高いがん看護を提供することを目的として、当院では2015年11月からがん看護外来が開設されました。2016年7月からは乳がん看護認定看護師による乳がん看護外来も開始となりました。乳がん治療は、手術療法、化学療法、放射線療法、内分泌療法、分子標的治療と、様々な治療方法が適応となるため、その時々で、患者さんが治療を選択しなくてはならない場面に直面します。しかし、昨今の現状では、外来診療で医師からの説明を受ける時間は短時間に限られており、患者さんは十分に考慮し、納得した状態での治療選択が困難な場合も多くあります。昨年から開設した乳がん看護外来での相談内容でも、やはり初期治療における治療選択に関する相談が約半数を占めました。したがって、これまでの乳がん看護外来での相談内容を分析し、乳がん患者さんが初期治療における治療選択の場面での意思決定支援の実際を明らかにしたいと考えました。さらに、乳がん看護認定看護師が乳がん看護外来で行う意思決定支援のあり方についても考察し、今後の乳がん看護外来がより患者さんのニーズに沿うための方策に関する示唆を得たいと考えました。本研究によって、乳がん看護外来の課題が明らかになることで、個々の乳がん患者さんや家族が必要とする看護の提供や継続看護につながると考えます。

方法：研究デザイン：質的研究：実態調査研究（記録調査）

患者さん・家族と面談した内容をカルテに記載した看護外来記録より得られた情報から、乳がん看護外来における相談・支援内容を抽出し、初期治療における治療選択に関わる意思決定支援の場면을質的に分析します。

研究期間：2017年11月9日～2018年5月18日 日本乳癌学会学術総会

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さん・家族と面談した内容をカルテに記載した看護外来記録より得られた情報等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当 村尾知彦  
〒981 - 1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1  
TEL 022-384-3151 (代表) (内線 973)

研究責任者：宮城県立がんセンター 看護部 5階東病棟 船水まり子